2026 年 11 月 26 日

ペトロナス社との LNG 安定供給および脱炭素分野における戦略的協業に関する覚書の締結について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、マレーシアの国営エネルギー会社 Petroliam Nasional Berhad（以下「ペトロナス社」）と、LNG の安定供給および脱炭素分野等における戦略的協業に関する覚書（以下「本覚書」）を 2026 年 10 月 27 日に締結しました。



2026 年 11 月 6 日 調印セレモニーの様子
（左：ペトロナス社 Tengku Muhammad Taufik 社長、右：東京ガス 笹山 晋一 社長 ）

本覚書に基づき、東京ガスとペトロナス社は、エネルギーの安定供給と脱炭素化の両立に向け、「LNG の調達だけでなく、需給最適化、貯蔵、輸送、再ガス化など、LNG バリューチェーン全体」および「CO_2 ネット・ゼロ実現に向けたバイオメタン、CCS[*1]等の脱炭素分野」における協業機会を検討します。

世界的なエネルギー情勢の不確実性が高まる中、エネルギーの安定供給を確保しながら、着実にカーボンニュートラル社会に向けた取り組みを進めていくことの重要性が一層高まっています。LNG は、安定供給と低炭素化の双方を支える重要なエネルギーとして、今後も日本をはじめとするアジアのエネルギートランジションにおいて重要な役割を担うことが期待されています。

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「価値共創のエコシステム[*2]構築」ならびに「CO_2 ネット・ゼロへの挑戦」を掲げています。ペトロナス社とは、これまでも LNG および脱炭素分野における協力関係を構築してきました。本覚書を通じて両社の関係をさらに発展させ、それぞれの知見や強みを活かしながら、LNG の安定供給の確保とエネルギーバリューチェーンの高度化、ならびに脱炭素社会の実現に貢献していきます。

＊1：CO_2 の回収・貯留（Carbon dioxide Capture and Storage の略称）
＊2：多くの企業が、それぞれ強みを持つ領域の技術・ノウハウ・知見を持ち寄り新たな価値を創出していく事業生態系

以上